

## # 19 決算公告（個別注記表）別注記表

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ①評価基準 原価法(収益性の低下による簿価切り下げの方法)によっております。
- ②評価方法 仕掛品 …………… 個別法

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産 定額法を採用しております。  
(リース資産を除く) なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
- |          |       |
|----------|-------|
| 建物       | 3～15年 |
| 工具器具及び備品 | 2～15年 |
- ②無形固定資産 定額法を採用しております。  
(リース資産を除く) なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
- |             |    |
|-------------|----|
| 自社利用のソフトウェア | 5年 |
|-------------|----|

#### 3. 引当金の計上基準

- ①賞与引当金 従業員賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき金額を計上しております。

#### 4. 消費税等の会計処理方法

税抜方式を採用しております。

#### 5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

- ①グループ通算制度の適用  
当社は、前事業年度より、グループ通算制度を適用しております。

### 株主資本等変動計算書に関する注記

#### 1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 1,700株

#### 2. 配当に関する事項

該当事項はありません。

### 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

### 会社分割に関する注記

当社は、2023年7月1日に当社の電子事業統括部が担当する事業を株式会社KADOKAWA KEY-PROCESSへ、メディアコミュニケーション事業統括部が担当する事業を株式会社角川アスキー総合研究所へ承継させる会社分割(吸収分割)を行っております。

#### 1. 取引の概要

- (1) 対象となった事業の名称およびその事業の内容  
当社が営む電子事業統括部が担当する事業
- (2) 企業結合日  
2023年7月1日
- (3) 企業結合の法的形式  
当社を分割会社、株式会社KADOKAWA KEY-PROCESSを承継会社とする会社分割
- (4) 結合後企業の名称  
変更はありません。

## 2. 取引の概要

- (1) 対象となった事業の名称およびその事業の内容  
当社が営むメディアコミュニケーション事業統括部が担当する事業
- (2) 企業結合日  
2023年7月1日
- (3) 企業結合の法的形式  
当社を分割会社、株式会社角川アスキー総合研究所を承継会社とする会社分割
- (4) 結合後企業の名称  
変更はありません。

## その他の注記

該当事項はありません。